

## 1. 正しい発音を聞かせましょう

幼児には、「サシスセソ」「ラフリルレロ」などが発音しにくいものです。サはタに、ラはダに発音されます。

だから、「お父さん」は「お父たん」「ラッパ」は「ダッパ」になってしまいます。これは直そうとしても、すぐに直せるものではありませんから、しばらくそのままにしておきます。

ただし、子供の誤った発音を、親がまねて言うことは止めましょう。子供は「ダッパ」、しかし親は「ラッパ」と正しく発音します。そこで、子供は、自分の発音と親の発音との違いが、耳の発達に伴って、自然と判るようになり、子供が自分で改めるようになります。

コラム

### 部首 行

十字路の象形。人の歩行するところから“いく”を表す。

【衝】 “重要な街道”転じて“重要な場所”。また衝(道路)は重要な場所を。つらぬいて“通っている”ので“突きぬける”“突き当る”という使い方も生れた。

幼児語はなるべく使わないようにし、使っても、なるべく早い時期に、これを切替えるようにしたほうがよいと思います。習慣を改めるには、前の習慣の二倍の期間、努力しなければならない、と言われていて、遅くなればなるほど、子供が苦しむからです。

コラム

### 部首 少

左足の少の変形。

【歩】 右足の止と左足の少の変形した少との会意字。“あるく”こと。

【走】 “はしる”形を表した土(土)と止との会意字。土だけでは、“つち”と区別できないので足の部首をつけ加えた。